

派遣留学生帰国報告書

* 帰国(復学)後の情報を入力してください

記入日	2019/2/17
所属学部・ 研究科・学府	法政経学部
所属学科・専攻	法政経学科経済コース

1. 留学先について

留学先大学名	デュッセルドルフ大学							
留学先所属学部等	現代日本学科							
留学期間	出発日	2017/9/25	入学日	2017/10/1	修了日	2018/9/4	帰国日	2018/9/10
住居	<input type="radio"/> 大学(紹介)の寮・アパート	<input type="checkbox"/> 民間アパート	<input type="checkbox"/> その他()					
	通学時間						<input type="radio"/> On campus	
	通学方法	徒歩						
	居室スペース	<input type="radio"/> 個室	() 人部屋	<input type="checkbox"/> その他()				
	共有スペース	<input type="radio"/> 完全個室	<input type="checkbox"/> キッチン	<input type="checkbox"/> トイレ	<input type="checkbox"/> バス	<input type="checkbox"/> リビング	<input type="checkbox"/> その他()	
食事	自炊	85 %	学食	10 %	外食	5 %	その他 () %	
保険	海外旅行保険(名称)	AIU海外留学保険						
	派遣先大学指定の保険(名称)	無し					<input type="checkbox"/> 強制加入	
	その他							
渡航ルート	ex.) 成田⇄シカゴ(飛行機)⇄ウィスコンシン(電車)							
	成田 ⇄ デュッセルドルフ(飛行機) ⇄							

2. 留学にかかった費用について

総費用	1,800,000 円								
出どころ									
自費	<input type="checkbox"/>	貯金	円	<input type="checkbox"/>	アルバイト	円	<input type="checkbox"/>	その他	円
援助	<input type="radio"/>	両親	360,000 円	<input type="checkbox"/>	家族・親戚	円	<input type="checkbox"/>	その他	円
奨学金	<input type="radio"/>	JASSO	960,000 円	<input type="checkbox"/>	その他名称()				円
その他	<input type="radio"/>	千葉大学助成金	480,000 円	<input type="checkbox"/>	その他()				円

2-1. 財政管理の方法

渡航時	<input type="radio"/>	現金	30,000 円		その他()	円
留学中		海外送金	キャッシング	<input type="radio"/>	その他(GAICAカード)	

2-2. 各費用の支払い方法

大学に払った費用	クレジットカード
住居にかかった費用	現金
その他	

2-3. 内訳

費目	外貨金額		円貨金額	
	通貨単位			
渡航費(往復)			140,000	円
海外旅行保険			259,230	円
OSSMA			29,160	円
査証・在留許可証			13,000	円
住居			54,6,000	円
食費			288,000	円
通学に要する交通費			0	円
教科書、教材費			6,500	円
その他大学に支払った経費			73,710	円
光熱費			0	円
その他 (旅費)			444,400	円
その他 ()				円
その他 ()				円
その他 ()				円

3. 学業面

履修科目名	種類 ^{ex.正規、聴講}	単位数	単位互換認定申請の有無		
			有	<input type="radio"/>	無
1 Behavioral economics	履修	4	<input type="checkbox"/>	<input type="radio"/>	<input type="checkbox"/>
2 Institution economics	履修	4	<input type="checkbox"/>	<input type="radio"/>	<input type="checkbox"/>
3 Labour economics	履修	4	<input type="checkbox"/>	<input type="radio"/>	<input type="checkbox"/>
4 Macro economics	履修	4	<input type="checkbox"/>	<input type="radio"/>	<input type="checkbox"/>

5 Democracy in the European Union	履修	4		有	○	無
6 Deutschkurs A1.1	履修	6	○	有		無
7 Deutschkurs für Austauschstudierende der Partnerhochschule	履修	2	○	有		無
8				有		無
9				有		無
10				有		無

3-1. 授業科目の選択、登録方法

登録時期…授業が始まる1ヶ月前程度までに登録しなければいけないが、しかし登録できなかったとしても、担当教員に直接申し出れば、大抵は履修できる。登録方法…大学専用のホームページから履修登録を行う。

3-2. 授業内容、方法に関して

専門科目…基本的に、各科目週二回授業が行われ、一回は講義、一回は演習という形式である。ドイツ語…授業によって週一回から週三回まで、レベルも幅広く開講されている。

3-3. 語学力について

専門科目を学習するにあたっては、事前にある程度専門用語を頭に入れておくべきである。

3-4. 図書館など学内施設について

私が在籍していた大学だけかもしれないが、館内に私物を勉強道具や資料以外のものを持ち込めなかったため、使いづらかった。

3-5. その他

4. 生活面

4-1. 住居について

私が住んでいた寮は、各部屋に独立してキッチン・バス・トイレがあるので、住み心地は大層楽だった。家賃に水道光熱費が含まれている。

4-2. 食生活について

肉や乳製品・野菜は日本より格段に安い、卵などは高い。Bio製品などにこだわらなければ、お手頃に如何様な食生活も可能である。

4-3. インターネット環境、携帯電話について

年間8ユーロで寮のネットは使い放題であった。通信速度は可も不可もない程度。私は携帯のSIMカードを一度も買うことなく過ごしたので、携帯については回答はできない。

4-4. 服装について

冬は本当に寒いので、防寒力の高い良質なアウターが必須である、と個人的には思う。

4-5. 健康管理について

風邪を引いたり、気分が悪くなったら、とにかく寝て体に優しいものを摂取するように心がけた。

4-6. 保険、OSSMAの利用について

使用経験無し。

4-7. 課外活動について

街には様々なスポーツのクラブがあり、運動はしやすい環境だと思う。また、大学内にも、映画サークルなど複数のサークルも存在する。

4-8. 学外のコミュニティとの交流について

月に一回、シュタムティッシュと呼ばれる、双方向の文化に興味がある(例:日本とドイツ)人々が集まる会があった。そこからさらなる広がりを持つ人が大半である。

4-9. 日本から持参してよかったもの

ラップ・カイロ・薬

4-10. 日本から持参したが不要だったもの

特に無し

4-11. 現地での対人関係について気づいたこと(習慣の違い、マナーなど)

- ・パーティーなどのイベントでは、集合時間より遅れて行くのがルール。
- ・乾杯するときは、必ず目を合わせてする。
- ・譲歩はするが、遠慮はしない。

4-12. 余暇の過ごし方

旅行

【スイス・リヒテンシュタイン・イタリア・ハンガリー・オーストリア・チェコ(観光)】1ヶ月、費用は不明
 【ベルギー(観光)】3日、費用は不明
 【オランダ(観光)】3日、費用は不明
 【イタリア・フランス・イギリス・ポルトガル・スペイン(観光)】1ヶ月、費用は不明

その他 * 気分転換やストレス発散法など。

- ・周辺の世界遺産へ出かける
- ・スポーツ(例:バトミントン)

5. その他

5-1. 留学先大学について

中央駅からU-Bahnで15分の所にある。近隣諸国だけでなく、中東や極東からも留学生がやってくる国際色豊かな大学。そのせいか、数十種類の言語のクラスが存在する。

5-2. 留学希望者へのアドバイス

粘り強く取り組むことも大事だが、どうしようもなくなった時は、諦めて切り替えるのも大切。

5-3. 留学を終えて

留学先国で、旅先で、なんとか生き残ろうとあれこれ挑戦したことは自信になった。また、就活を進めて行く上で、キャリアについて考えることが多いが、留学経験がそのプラン形成の基になっている。